

競技注意事項

1. 競技規則について

2020年度日本陸上競技連盟規則および本記録会要項・競技注意事項・申し合わせ事項による。

2. 開門時刻 7:30

3. 練習について

(1) 練習は指定された場所で実施すること。練習時間については下記のとおりとする。補助競技場は使用できない。

| | | |
|-----------|---|--|
| 主競技場 (AM) | 【7:30~10:00】トラック 【7:30~10:00】跳躍 【7:30~9:45】砲丸投 円盤投・ハンマー投・やり投は招集完了後に競技場内で係員の指示により練習 | 1~2レーン 中距離 3~7レーン 短距離 8~9レーン ハードル 逆走は禁止 |
| 主競技場 (PM) | 【12:30~13:30】トラック・跳躍 | 逆走は禁止 |
| 雨天練習場 | 【7:30~16:00】北側(100mスタート側)から南側(ゴール側)方向へ | 用具の使用不可 走練習のみ |
| 補助競技場 | 終日使用不可 | |

- (2) 練習は原則として監督が付き添って行うこと。また、安全に留意し、各チームの監督の責任において行うこと。
 (3) 走路でのミニハードル、マーカー、チューブ等の器具を使用する練習は禁止とする。
 (4) 投てき器具(デインボール等)を使用する練習は事故防止のため禁止する。(砲丸投ピットでの砲丸投の練習を除く)
 (5) トラックを横切るときは、左右を確認し十分に注意すること。

4. 招集について

- (1) 招集開始および完了時刻は右記のとおりとする。
 (2) 招集は、競技開始場所に招集時刻に集合し、役員にアスリートビブスを見せて確認を受けること。(招集所には集まらない)
 招集開始から完了時刻にのみ点呼を行う。招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。
 競技開始場所で待機する際は、選手同士の距離を十分に確保し、原則としてマスクを着用すること。

| | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|------|----------|----------|
| トラック | 競技開始15分前 | 競技開始5分前 |
| 跳躍 | 競技開始30分前 | 競技開始20分前 |
| 棒高跳 | 競技開始50分前 | 競技開始40分前 |
| 投てき | 競技開始30分前 | 競技開始20分前 |

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部両面につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか一方でもよい。

6. 競技について

- (1) スタートの合図は「On Your Marks」「Set」のイングリッシュコマンドとし、不正スタート1回で失格とする。
 (2) セパレートレーンで行う競技では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
 (3) フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)は3回の試技とする。
 (4) 走高跳・棒高跳の競技開始の高さおよびバーの上げ方については、現地の役員の指示に従うこと。
 (5) 競技用具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、やり・棒高跳用ポールについては、審判員の検定を受け合格した物に限り使用することができる。検定については、棒高跳用ポールは現地で、やりは競技開始の60分前にフィニッシュ付近の器具倉庫前において行う。
 (6) スパイクシューズのピンはオールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

7. その他

- (1) 発病・負傷については、応急処置以外の責任を負わない。
 (2) 3密を回避するための行動を意識し、各自で感染予防のため、マスクの着用、手洗いの励行、咳エチケットを心がけること。
 (3) 更衣室は使用できるが、更衣は速やかに済ませ、長時間滞在しない。シャワーは使用禁止とする。
 (4) 競技用具を使用した後は、入念な手洗いをする。
 (5) 貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。紛失の責任を負わない。
 (6) ゴミは各自責任を持って持ち帰ること。
 (7) 競技会の参加者氏名・所属および成績等については、島根陸上競技協会ウェブサイトおよび新聞等に掲載される。
 (8) 会場での集団応援、大声を出しての応援は禁止する。
 (9) 選手、監督の競技場への入退場は指定された場所を通行する。選手、役員、各校顧問(各団体責任者)以外の保護者、報道関係者(各校写真担当)等の会場への入場はできない。